

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アクティブスペースみらい辰巳店		
○保護者評価実施期間	R6年 10月 1日		～ R6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	R6年 10月 1日		～ R6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	体を動かせる療育をしている。	毎月活動プログラムを作成して運動メニューを提供している。簡単な体の使い方を学んだり、友達と楽しめるように工夫しています。	運動器具等増やし、できる運動メニューを増やしたい。
2	宿題ができる。	来所後すぐに宿題ができる時間があります。第三者が宿題を見るので子ども達もやる気を出し取り組んでいます。	保護者から要望があれば苦手科目等の復習ができるようにしている。
3	土曜日や長期休暇はお出かけに行く。	戸外遊びでの体を動かす経験は大切なので、すすんでお出かけに行っています。	小学生向けのお出かけ場所等を調べる。(全身を動かせるような公園等)

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・天井が低い。 ・床がうく。 ・収納が少ない。	天井が高いことでできる運動があるが、低いことで制限される。 床がういて活動のさまたげになる。	天井が低くてもできるメニューを工夫する。運動メニューの幅を広げていきたい。
2	送迎の車の色をそろえたい。	スタッフのモチベーション。	本社等に要望を出していきたい。
3	書類が多い。書類に時間をとられる。	国の方針なので仕方ないが、直接支援の内容をよくしていきたい。	・書類を減らせるように工夫していきたい。 ・PC、タブレットで管理できるようにすすめていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 年月日				回収数	
		利用児童数 年月日				回収数	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	84%	13%	0%	0%	狭いという意見もありますが、うちの子は楽しんでいるので充分です。	子ども達が活動しやすいようにスペースの確保をしています。余分なものを置かず安全管理にも配慮します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	81%	6%	3%	6%		職員の配置については基準より多く配置しています。管理者兼児発1名・指導員等4名・理学療法士1名シフト制です。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	87%	0%	0%	10%		完全にバリアフリーではないが、環境整備に努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	94%	0%	0%	3%		朝の清掃、消毒を毎日しております。支援後も清掃をしています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	81%	3%	0%	10%	息子のペースに合わせて支援をしてくださっています。	子ども達が楽しく活動に参加できるように活動プログラムを考え支援をしています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	90%	6%	0%	0%		支援プログラムから活動プログラムの作成をしています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	87%	10%	0%	0%		面談や書面で保護者のみなさまから聞き取りを行い計画の作成をしています。また、職員全員が支援会議に参加し子ども達のサポートができるようにしています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	87%	3%	0%	6%		ガイドラインに沿って支援ができるようにしています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	87%	3%	0%	6%		子ども達の特性を理解して支援をしています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	74%	10%	0%	13%		毎月運動内容のねらいを変え、一週間に活動内容を変化させています。SNS等にのせています。（少ないですが更新ができるようにしていきます）
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	19%	23%	19%	35%	感染症などあるので交流は難しいと思う。	みらいのグラウンドに行くことがあります。そこでは地域の子と遊ぶ機会があります。また公園に行く際にも他のお友達と一緒に遊ぶことができます。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	97%	0%	0%	0%		契約時に説明を行っています。更新の際変更があれば口頭で伝えるようにしています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	87%	0%	3%	6%		計画書ができた時に支援内容等を説明しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	58%	10%	3%	26%		職員だけのペアトレや家族支援の研修をしているので、今後保護者にも広げていきたいです。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	84%	10%	3%	0%		モニタリングや送迎時、SNSなどでお伝えしています。また連絡ノートでコメントや写真等で様子を伝えていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	74%	16%	3%	3%		相談がある場合は個別に対応しています。また、事業所で気になることがありましたら送迎時お会いしてお話しています。職員間で共通理解できるように徹底しています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	87%	3%	3%	3%		保護者の気持ちに寄り添った支援を心掛けています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23%	19%	6%	35%		父母の会や保護者会はしていませんが、イベントや研修会等に形を変え開催しています。（野球観戦・就労移行さんとの相談会・もちつき等）
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	61%	6%	6%	16%		相談等は迅速に対応できるように心掛けています。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	74%	6%	3%	3%		利用している子や保護者の方の気持ちを考え対応しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	68%	3%	0%	16%		年に1回自己評価アンケートを実施、結果をHPにのせています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	81%	0%	3%	3%		十分注意し配慮しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	65%	3%	3%	13%		契約時に説明を行っています。また避難訓練や避難方法など活動に取り入れSNSで発信しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	61%	0%	3%	23%		避難訓練を実施し、避難方法や注意点など子ども達にわかりやすく伝えています。土曜計画が多いので平日にも取り入れたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	65%	0%	0%	19%		安全計画に沿って支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	81%	3%	0%	0%		事故が発生した際はマニュアルに沿って迅速に対応できるように心掛けています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	84%	3%	0%	0%		みらいを居場所だと思って楽しんで過ごしてほしいと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	74%	13%	0%	0%		みらいの活動に楽しみをもって来る子やみらいを好きと言ってくれる子がいることに感謝しております。引き続き満足できる活動を考えたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	74%	13%	0%	0%	いつもありがとうございます。みらいに遇えてよかったです。	日々子どもたちが楽しく過ごせるように今後も努めていきたいです。こちらこそいつもありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
		年 月 日				
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		一人あたり広いスペースを確保できています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		利用定員を超えないように日中一時と調整しています。配置基準も満たせるようにシフトを調整していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		学習や運動、余暇スペースを分けて過ごやすく工夫しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		朝夕清潔にしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		個別室を用意しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		月1回カンファレンスを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		評価表集計後に把握し、全職員で共有しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		月1回カンファレンスを行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			第三者評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		部外研修やアプリ研修で勉強できるようにしています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		ホームページにて公表しています。利用者には書面で配布しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		6カ月に一回面談し、作成できるようにしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		利用後の様子や日誌を活用し、支援会議に検討を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		計画に沿いながら子ども達が楽しめるような活動を提供しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		個別日誌から子ども達の成長等を確認できるようにしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		できるだけ具体的な内容にしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。			毎月職員全員で活動プログラムを作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		月ごとねらいを変えて、毎月の活動プログラムを考えています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		その子に合わせて個別で対応できるように工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		毎日活動プログラムを見て、職員内で連携しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		支援終了後や翌日の朝に振り返りを共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		個別支援日誌を書き、支援の検証に活かすようにします。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		6カ月に一回モニタリングをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%		総合的に組み合わせられて支援ができています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		子どものやりたい気持ちを育めるようなメニューを考えています。休みたい時は気持ちを受けとめて遊べるように促しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		積極的に自発参画ができるようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		連絡があればすぐに対応できるようにしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		送迎時にお会いできる時に連絡や共有ができるようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			サポートブック等を活用し、支援の共有ができるようにしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			保護者や利用者から希望があれば面談できるようにしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		100%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		100%		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		100%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		なるべく連絡帳を見ていただきたいことを伝えています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		アプリ研修や部内研修で家族支援について共有しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		苦情がある場合すぐに話ができるようにしている。その苦情が非常識な内容の場合、職員に周知し、本社からカスタム対応してもらっています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		みらいの活動をインスタやタイムラインに発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%		本社の地域イベントに参加しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		個別に対応できるように職員で共有している。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		個別に対応できるように職員で共有している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%			